

平成28年3月1日

平成27年度
第二回学校関係者評価委員会報告

1、日時

平成28年2月29日（月）15:00～16:00

2、場所

日本リハビリテーション専門学校第二校舎6階

3、出席者

委員：高田、武市、松岡、古川、山下、栗原

事務局：陶山、二瓶、工藤、畠山、近野、篠田、鈴木雅、深瀬

4、会議内容

以下議題に添って進行

【議題】学校関係者評価委員会

平成27年度第三者評価報告書（文科省委託事業第三者評価報告実証事業）の評価内容に関する各委員のご意見について

事務局 工藤

学校関係者評価委員会を開始、資料に添って説明。

（質疑応答）

高田委員

評価が5段階中2となった「教員の臨床実習施設での学生指導の参加体制」についてもう少し聞きたい。

事務局 篠田

看護学生が養成施設での教員と共に実習現場に参画して、教員が看護学生を直接指導している。このような学生指導体制を日本リハ校のPT・OT実習施設で取り入れているかという設問である。このような学生指導体制が不十分なので評価が5段階中2となった。

高田委員

看護師の場合は教員の人数が多いからできる。私の大学でも看護学科は教員が30名いる。それに比べてPT学科は14～5名程度で、2倍位違う。ベースが違うのでその実習の仕方は正直厳しいだろう。もしこの基準で審査を行うならば、教員の人数を増やすような提言を国に行うような活動が必要となる。

武市委員

ある先生が仰っていたが、PT・OTの実習の仕方は医療系資格の中では一種独特だ。医師は資格を取得してから実習を行う。看護師は実習教官が付く。それに対して、PT・OTの実習は資格取得前に実際に患者様を触らせている。これはかなりイレギュラーで実は危険なことかもしれない。今の学生の質を考えると、将来的にそうせざるを得ないかもしれない。

高田委員

医師の場合は、国からの補助が出ている。それをPT・OTでやるのは厳しいだろう。当面としては、もし評価項目としてあるならば、教員の人数を増やすしかないだろう。

事務局 二瓶

医学部では、5年の時にオスキーとCBT(コンピューター・ベースド・テスト)をやって仮免を与える。それを受かった者だけがクリニカル・クラークシップで患者様に触れる。触れる段階はレベル1～3までになっている。

クリニカル・クラークシップを導入するのか、それとも看護師養成のように臨床実習現場で看護学生を指導する指導者を置いてやるのかになる。どちらかの方式をPT・OT臨床実習で導入できるかどうか、今後の大きな課題である。

事務局 篠田

大学等との連携が取れている学園では試行的にやっているところはあるようだ。専門学校の中でやるとしたらかなり厳しい。

むしろ卒業教育の中で、これから実習指導者となっていく卒業生等に対して、学校へ招いて指導をしていくことは現実的かもしれない。

事務局 畠山

教員が現場に入っていくという場合に、受け入れる現場はどうなのでしょう。

地域で患者様を見ていく場合に、その方の背景等を知らない教員が入って行って、あれこれと指導することの怖さがある。クラーク・クラークシップが確立していれば入っていけるが、それも急性期等の患者様の流れがある程度速いところだけかもしれない。背景を理解しないで技術だけを見せることはいかかなものだろう。

自前の病院を持っているところでないといけないかもしれない。個人情報の問題も出てくるだろう。

高田委員

今は治療的なアプローチの方法がいくつも考えられている。病院の中でも色々とある中で、外部の教員が入っていくことの難しさがある。治療的なコンセンサスを合せて出来たならば良いだろう。

古川委員

当院でも一年前に第三者評価を受けた。患者様に対してきちんと同意を得ているのかの項目がある。実習生であって患者様の同意が必要なので、教員であればもちろん同意が必要であるだろう。

事務局 鈴木雅

大学において、以前実習を受ける立場だった頃、大学が教員と講師契約をしていた。立場をはっきりした上で指導を行っていた。

事務局 篠田

そういった場合、何かあった場合の責任は施設側になってしまう。

高田委員

臨床教諭という形式で契約を結んでいる大学はある。
医師の場合は、何かあった場合は刑事責任等が重いが、PT・OTには、最終責任はないので、臨床実習指導者の学生指導の力量にも関係することであるが、実習指導者各自が養成校の教員のいうことに耳を傾けずに、自分の流儀にこだわってやっているようなところがある。このようなことはPT・OTの意識レベルの問題でもある。

武市委員

今回の診療報酬の改定を見ても、PT・OTの就職も厳しくなる。質を担保するということが実習は大切であるが、現場のPT・OTが何をできているのかということも今後の課題である。